


第7章 目標達成のための施策と目標値設定

本計画の目標達成に向けた具体的な施策と取組の達成状況を評価するための目標値を整理する。

- 
- | 7-1 | 目標達成のための施策・事業の位置づけ
 - | 7-2 | 各施策・事業の実施方針
 - | 7-3 | 基本方針実現のための評価指標・数値目標

| 7-1 | 目標達成のための施策・事業の位置づけ

基本方針の実現に向けた目標を達成するための施策・事業を以下のとおり実施する。

表 7-1 施策体系

基本方針	目標	施策
広域交通の維持・確保	官民連携による取組の推進	広域交通の最適化に向けた連携体制の構築による取組の推進
公共交通の日常的な利用の促進	公共交通利用に対する意識醸成	公共交通の維持・確保に向けた利用者意識の醸成
公共交通の持続性向上	公共交通の担い手確保	公共交通を担う人材の確保に向けた魅力発信や自治体施策との連携
公共交通の利便性向上	公共交通の利用環境の改善	快適な公共交通利用空間の整備やシームレスな乗継確保
交流拡大に向けた公共交通の活用促進	観光における公共交通の利用促進	観光誘客による公共交通の利用促進



7-2 | 各施策・事業の実施方針

各施策に関する取組内容は以下のとおりである。

(1) 広域交通の最適化に向けた連携体制の構築による取組の推進（地域公共交通利便増進事業）

目的等	国・北海道・市町村・各交通事業者等が連携体制を構築し、広域交通の維持・確保に関する取組の推進を図る。				
取組概要	<ol style="list-style-type: none"> 公共交通事業者と北海道、市町村、国が参加する協議会やエリア別検討会を継続的かつ定期的に開催する。 協議会やエリア別検討会での協議を基に、路線やサービス水準等の検討及び関係者間連携を推進し、広域交通の最適化を図る。 地域交通に関わる事業者や行政担当者などの間で最新情報やノウハウなどの情報共有や意見交換などの機会を設け、連携体制を強化する。 				
取組主体	・国 ・北海道 ・市町村 ・交通事業者				
取組内容	国	<ul style="list-style-type: none"> 協議会への参加 交通担当者向けの研修会の開催 先進事例等の情報提供 			
	北海道	<ul style="list-style-type: none"> 市町村、交通事業者との調整 協議会・エリア別検討会の運営・参加 最適化に係る協議・検討 交通担当者向けの研修会や意見交換会の開催 			
	市町村	<ul style="list-style-type: none"> 協議会・エリア別検討会への参加 最適化に係る協議・検討 研修会や情報交換会への参加 			
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> 協議会・エリア別検討会への参加 最適化に係る協議・検討 最適化実施と実施後の利用データ取得及び利用状況のモニタリング 運行状況等のデータ提供 			
スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	北海道上川地域公共交通活性化協議会、エリア別検討会の開催				
	最適化に係る協議・検討・実施				
	研修会・情報交換会の開催・参加				
	運行状況等のデータ提供、利用状況のモニタリング				

(2) 公共交通の維持・確保に向けた利用者意識の醸成

目的等	公共交通を利用しやすい環境づくり等の取組を進めるとともに、日常的な移動における公共交通利用の意識醸成を図る。				
取組概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 路線バスと鉄道の総合時刻表等の作成配布やバスの乗り方教室の開催等により、公共交通の利用促進を図る。 2. 北海道、市町村、国が連携し、ノーカーデーを実施することにより、公共交通の利用促進を図る。 				
取組主体	・国 ・北海道 ・市町村 ・交通事業者				
取組内容	国	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要な助言や情報提供 ● ノーカーデーの実施 			
	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者・市町村と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布 ● 交通事業者・市町村と連携したバスの乗り方教室の開催 ● ノーカーデーの実施 			
	市町村	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者・北海道と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布 ● 交通事業者・北海道と連携したバスの乗り方教室の開催 ● ノーカーデーの実施 			
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道・市町村と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布 ● 北海道・市町村と連携したバスの乗り方教室の開催 ● 路線や時刻表をホームページに掲載するとともに、観光施設や公共施設で配布 			
スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	<p>路線バスと鉄道の総合時刻表の作成</p> <p>路線バスと鉄道の総合時刻表の配布</p> <p>バス事業者と連携したバスの乗り方教室の検討</p> <p>バス事業者と連携したバスの乗り方教室の実施</p> <p>ノーカーデーの実施</p>				
	<p>スケジュール詳細:</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バスと鉄道の総合時刻表の作成: R5 - R6 路線バスと鉄道の総合時刻表の配布: R5 - R9 バス事業者と連携したバスの乗り方教室の検討: R5 - R6 バス事業者と連携したバスの乗り方教室の実施: R6 - R9 ノーカーデーの実施: R5 - R9 				



(3) 公共交通を担う人材の確保に向けた魅力発信や自治体施策との連携

<p>目的等</p>	<p>運転手の仕事の魅力発信や、自治体で実施する移住施策等との連携などにより、公共交通の担い手の確保を図る。</p>				
<p>取組概要</p>	<p>1. 仕事の魅力を伝えるために就職説明会や運転体験会等を実施する。 2. 自治体の行う移住施策等とも連携しながら、交通事業者、北海道、市町村、国が協力して人材の確保に取り組む。</p>				
<p>取組主体</p>	<p>・国 ・北海道 ・市町村 ・交通事業者</p>				
<p>取組内容</p>	<p>国</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要な助言や情報提供 ● 旅客運送事業者の人材確保支援（二種免許取得支援等） 	<p>北海道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者合同就職説明会等の開催 ● 移住施策との連携（移住・定住ポータルサイトの活用） ● 事業者の取組への協力 	<p>市町村</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 移住施策との連携 ● 事業者の取組への協力 	<p>交通事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 就職説明会や運転体験会等の実施 ● 資格取得支援制度や研修制度等の実施 	 <p>路線バス運転体験・合同就職相談会の実施 (3 事業者・北海道バス協会・北海道) 出典：https://www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/iju/index.html</p> <p>移住ポータルサイト (上川総合振興局)</p>
<p>スケジュール</p>	<p>R5</p>	<p>R6</p>	<p>R7</p>	<p>R8</p>	<p>R9</p>
<p>就職説明会・運転体験会の開催</p>					
<p>移住施策との連携の検討・実施</p>					

1 はじめに
2 計画の位置づけ
3 上川地域の地域特性・現況
4 上川地域の移動に関する現況
5 上川地域の公共交通の課題
6 計画の将来像及び基本方針・目標
7 目標達成のための施策と目標値設定
8 計画推進に向けた評価体制

(4) 快適な公共交通利用空間の整備やシームレスな乗継確保（地域公共交通利便増進事業）

<p>目的等</p>	<p>乗継拠点やバス停等を整備し、乗り継ぎをスムーズに行えるようにすることで利便性を向上させ、利用者の満足度向上や利用促進につなげる。</p>																													
<p>取組概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 快適な利用に向け、バスの現在地や遅れなどの運行情報を提供する。 2. 乗継拠点やバス停等の整備を実施し、利用者にやさしい公共交通環境をつくる。 3. 鉄道とバス、バスとバスなど、輸送手段相互のシームレスな乗継のための取組を推進する。 																													
<p>取組主体</p>	<p>・国 ・北海道 ・市町村 ・交通事業者</p>																													
<p>取組内容</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">国</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要な助言や情報提供 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">北海道</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 関係者間の調整、先進事例の情報提供 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">市町村</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業者の取組への協力 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">交通事業者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● バスロケーションシステム（バスクタ！旭川）の周知・利用促進 ● 乗継拠点など利用環境の整備 ● シームレスな乗り継ぎのための事業者連携の取組を推進 </td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>バスロケーションシステム バスクタ!旭川 画面 出典：https://asa.buskita.com/#/map</p> </div>					国	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要な助言や情報提供 	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係者間の調整、先進事例の情報提供 	市町村	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者の取組への協力 	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● バスロケーションシステム（バスクタ！旭川）の周知・利用促進 ● 乗継拠点など利用環境の整備 ● シームレスな乗り継ぎのための事業者連携の取組を推進 																	
国	<ul style="list-style-type: none"> ● 必要な助言や情報提供 																													
北海道	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係者間の調整、先進事例の情報提供 																													
市町村	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者の取組への協力 																													
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● バスロケーションシステム（バスクタ！旭川）の周知・利用促進 ● 乗継拠点など利用環境の整備 ● シームレスな乗り継ぎのための事業者連携の取組を推進 																													
<p>スケジュール</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">R5</th> <th style="width: 20%;">R6</th> <th style="width: 20%;">R7</th> <th style="width: 20%;">R8</th> <th style="width: 20%;">R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="4">バスクタの周知・利用促進</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ニーズ把握・検討</td> <td>乗継拠点・バス停整備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ニーズ把握・検討</td> <td colspan="3">シームレスな乗り継ぎのための事業者連携推進</td> </tr> </tbody> </table>					R5	R6	R7	R8	R9							バスクタの周知・利用促進					ニーズ把握・検討	乗継拠点・バス停整備				ニーズ把握・検討	シームレスな乗り継ぎのための事業者連携推進		
R5	R6	R7	R8	R9																										
	バスクタの周知・利用促進																													
	ニーズ把握・検討	乗継拠点・バス停整備																												
	ニーズ把握・検討	シームレスな乗り継ぎのための事業者連携推進																												



(5) 観光誘客による公共交通の利用促進（地域公共交通利便増進事業）

目的等	観光客にとっても利用しやすい公共交通を整備することで、本地域の観光における公共交通利用者の増加につなげる。				
取組概要	1. 地域の観光施策と連携し、観光における公共交通の利用促進に取り組む。 2. 住民はもとより観光客などの来訪者が幹線交通・広域交通・生活圏交通を含め、スムーズな乗換ができるような環境の構築を推進する。				
取組主体	・国 ・北海道 ・市町村 ・交通事業者				
取組内容	国	<ul style="list-style-type: none"> 必要な助言や情報提供 			
	北海道	<ul style="list-style-type: none"> エリア別検討会において、スムーズな乗換のできる結節点の構築を含め、観光施策と連携した利用促進の取組について、情報共有を図るとともに検討を実施 ホームページでの「かみくるパス」等の情報発信 交通事業者・市町村と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布（再掲） 			
	市町村	<ul style="list-style-type: none"> スムーズな乗換のできる結節点の構築に向けた検討 エリア別検討会において、観光施策と連携した利用促進の取組について、情報共有を図るとともに検討を実施 ホームページでの「かみくるパス」等の情報発信 交通事業者・北海道と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布（再掲） 			
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> スムーズな乗換のできる結節点の構築に向けた検討 乗車人数など利用動向に係るデータの把握・提供 ホームページでの「かみくるパス」等の情報発信 北海道・市町村と連携した路線バスと鉄道の総合時刻表の作成・配布（再掲） 			
スケジュール	R5	R6	R7	R8	R9
	スムーズな乗換ができる結節点の構築に向けた検討 観光誘客に資する企画列車等の実施検討 観光施策と連携した利用促進の検討 路線バスと鉄道の総合時刻表の作成	観光誘客に資する企画列車等の実施 観光施策と連携した利用促進の検討・取組 路線バスと鉄道の総合時刻表の配布	スムーズな乗換ができる結節点の構築に向けた取組の実施 観光誘客に資する企画列車等の実施	結果検証	

1 はじめに
2 計画の位置づけ
3 上川地域の地域特性・現況
4 上川地域の移動に関する現況
5 上川地域の公共交通の課題
6 計画の将来像及び基本方針・目標
7 目標達成のための施策と目標値設定
8 計画推進に向けた



| 7-3 | 基本方針実現のための評価指標・数値目標

本計画の基本方針の実現に向け、目標の達成状況を確認するために、以下の評価指標及び目標値を設定した。

表 7-2 評価指標及び目標値

評価指標	現状値	目標値	対応する 施策	指標値の 測定方法
	令和3年度 (2021年度)	令和9年度 (2027年度)		
公共交通利用者数 〔広域交通〕	848,231 人/年度	942,000 人/年度以上	施策2 施策3 施策4 施策5	広域交通の運 行事業者から の提供データ による確認
公的資金が投入されて いる公共交通の収支率 〔広域交通〕	37.15%	38.31%以上	施策1	
公共交通への 公的資金投入額 〔広域交通〕	524,022 千円/年度	524,022 千円/年度以下	施策1	

※広域交通：地域間幹線系統及び広域生活交通路線

目標値設定の考え方を以下に示す。人口減少や新型コロナウイルス感染症等の影響により厳しい状況が続いている中、広域交通の持続性を確保していくため、利用者数の増加及び収支率の改善を目指すとともに、路線の維持・確保を目的とした公的資金の投入額が増加に転じないよう、各種施策を推進する。

表 7-3 目標値設定の考え方

評価指標	目標値設定の考え方
公共交通利用者数 〔広域交通〕	令和元年度（2019年度）以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、乗合バスの利用者数は大きく減少した。本計画に基づき利用促進や路線の維持・確保を図ることで、利用者数の回復を目指す。
公的資金が投入 されている 公共交通の収支率 〔広域交通〕	利用者の減少に伴い収支率も減少していることから、本計画に基づく運行の最適化等による収益の増加、支出の減少により収支率の改善を図る。
公共交通への 公的資金投入額 〔広域交通〕	公的資金投入額が増加傾向にあることから、運行の最適化による収益の増加、支出の減少を図ることで、公的資金投入額の抑制を図り、持続可能な公共交通を目指す。

<参考：目標値の考え方>

(1) 人口推計について

本地域の令和4年(2022年)から令和9年(2027年)の人口は、国勢調査及び将来人口推計(社会保障・人口問題研究所(H30推計))を用いて推計したところ、5年間で5.3%の減少が見込まれる。

区分	令和4年(2022年)	令和9年(2027年)	減少率
人口推計	472,297人	447,205人	△5.3%

(2) 令和4年度(2022年度)見込み値について

令和4年度(2022年度)における広域交通の利用者数及び平均収支率については、本地域において運行されている地域間幹線系統及び広域生活交通路線を運行する事業者からの提供データにより確認した。

指標	令和4年度(2022年度)見込み値
公共交通利用者数 [広域交通]	約942,000人
公的資金が投入されている公共交通の収支率 [広域交通]	38.31%
公共交通への公的資金投入額 [広域交通]	※

※公的資金投入額については、本計画の策定時点で令和4年度の補助額が未確定

(3) 令和9年度(2027年度)推計値について

上記(1)及び(2)に基づく令和9年度(2027年度)の推計値は以下のとおり。

指標	令和9年度(2027年度)推計値
公共交通利用者数 [広域交通]	892,119人
公的資金が投入されている公共交通の収支率 [広域交通]	36.27%

(4) 目標値の設定について

公共交通利用者数、公的資金が投入されている公共交通の収支率は、将来人口推計から減少が見込まれるが、本計画に位置づけた取組を推進することにより、令和4年度(2022年度)見込み値から利用者数の増加及び収支率の改善を目指し、目標値を設定した。

